

## 父兄会が出身隊員を激励

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（一等陸佐））は、9月12日（月）、静岡県自衛隊父兄会静岡地区会が実施する「航空自衛隊岐阜基地研修」を支援した。

この研修は父兄会が毎年実施しているもので、静岡市出身の隊員が活躍している現場に足を運び、隊員への慰問や激励を実施するとともに、現場の見学を通じて自衛隊を正しく理解し、防衛意識を高めることで自衛官募集活動の資とすることを目的としている。

当日は、基地の歴史や所在部隊の業務内容等について説明を受け、「F104戦闘機」等5種類の航空機の見学を行うとともに、國松誠父兄会長及び役員を含む3名が岐阜基地司令（平元和哉空将補）に表敬訪問を行った。

隊員食堂では静岡市出身隊員2名との会食も行い、現在の職場での活躍を聞くとともに、「同じ静岡市民として応援しているので、引き続き頑張ってください」と激励の言葉を送った。

最後に、戦闘機パイロットによる説明を受けながら防空の主力戦闘機である「F-15J戦闘機」を見学し、戦闘機の性能の高さとそれを操る隊員の技術力、そしてそれを支える日々の訓練の積み重ねに皆感心した様子であった。

研修を終えた会員からは「航空自衛官の職場を間近で見ることができ、大変勉強になった」「今日の見学を通じて自衛隊員として活躍している自分の息子をより誇らしく思えた」といった父兄ならではの感想も聞かれた。静岡地本は、今後も父兄会と緊密に連携を取り、防衛意識の高揚と募集基盤の拡充を共に図っていく。



## 夫婦で予備自衛官招集訓練に出頭

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之（一等陸佐））は、10月7日（金）から11日（火）にかけて、第1戦車大隊（駒門駐屯地）が担任する予備自衛官招集訓練（5日間）を支援した。

今回の訓練には77名が出頭し、その中で富士地区に在住する澤入智予備1等陸尉と澤入雅美予備2等陸曹の夫婦が、ともに5日間の招集訓練を受けた。

夫である澤入予備1尉は、自衛官を退官してから採用2年目で、初めての5日間訓練の出頭であった。一方、妻である澤入予備2曹は、民間人として普段の生活をしつつ今年度で予備自衛官動続20年の節目となり、訓練最終日に陸上幕僚長からの永年勤続表彰状を静岡地本副本部長・川面義夫事務官から授与された。

表彰後は夫婦揃っての記念撮影を行い、ともに訓練を受けた予備自衛官たちから祝福を受けて、照れ笑いを浮かべつつ受賞の喜びを分かち合っていた。

澤入予備2曹は「主人は自衛官を退官してから初の5日間訓練参加、私も20年勤続表彰と、夫婦共々記念に残る特別な招集訓練になった」と語った。

静岡地本は、今後ともあらゆる機会を通じて予備自衛官の重要性や任務制度等について広報するとともに、出頭環境をサポートして訓練意欲の向上を図れるよう全力で支援していく。

